

海 外 レ ポ ー ト

＝ 韓国における日本酒の動向 ＝

(財)自治体国際化協会ソウル事務所 岡元 隆太郎



みなさん、初めまして。財団法人自治体国際化協会ソウル事務所の岡元と申します。この4月にソウルに赴任し、2年間の在任予定です。3月までの1年間は東京の自治体国際化協会本部に勤務し、その前の3年間は徳之島で過ごしました。ここソウルは鹿児島ほどの温暖な気候は望めませんが、今のところは三寒四温もありつつ、過ごしやすい天気の日が多いように思います。韓国に入国して早々の4月初めには、北朝鮮によるロケット発射のニュースが流れ、それが落ち着くと今度は新型インフルエンザ、そして5月の終わりには、盧武鉉前大統領の自殺と北朝鮮による核実験というショッキングなニュースまで、様々なことが続きました。ソウル市内に設けられた盧武鉉前大統領の甲問所周辺では、警官隊と警察車両による物々しい警備も見られ、隣とはいえ日本とは異なる異国の地に居るのだということを改めて感じました。これからの生活でもハプニングがあるかもしれませんが、勉強と考え色々な経験をしたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

さて、当事務所では2009年度の事業方針として、日本への観光誘客促進、日本各地の物産品の韓国での販売促進を柱としております。赴任早々でまだまだ韓国事情に詳しいとはいええない状況にあるので、今回は当事務所における日本酒の広報促進事業についてご説明したいと思います。

韓国における酒類市場

韓国においても日本と同様、様々な種類のお酒が飲まれています。市場では希釈式焼酎とビールがほとんどのシェアを占めています。清酒については、他の酒類と同様にシェアとしては1%にも満たない状況となっています。

【韓国における酒類の出庫量】

(単位：キロリットル)

年度	2008	2007	2006	2005	2004
合計	3,098,022	2,989,105	2,900,414	2,799,643	2,875,540
希釈式焼酎	1,253,538	1,194,200	1,174,219	1,099,204	1,088,952
蒸留式焼酎	176	228	58	36	89
清酒	21,735	22,453	23,454	24,853	24,240
一般蒸留酒	10,207	10,367	9,612	9,136	7,762
ビール	1,772,800	1,714,718	1,643,567	1,612,621	1,696,713
ウィスキー	6,908	10,973	10,194	10,582	9,877

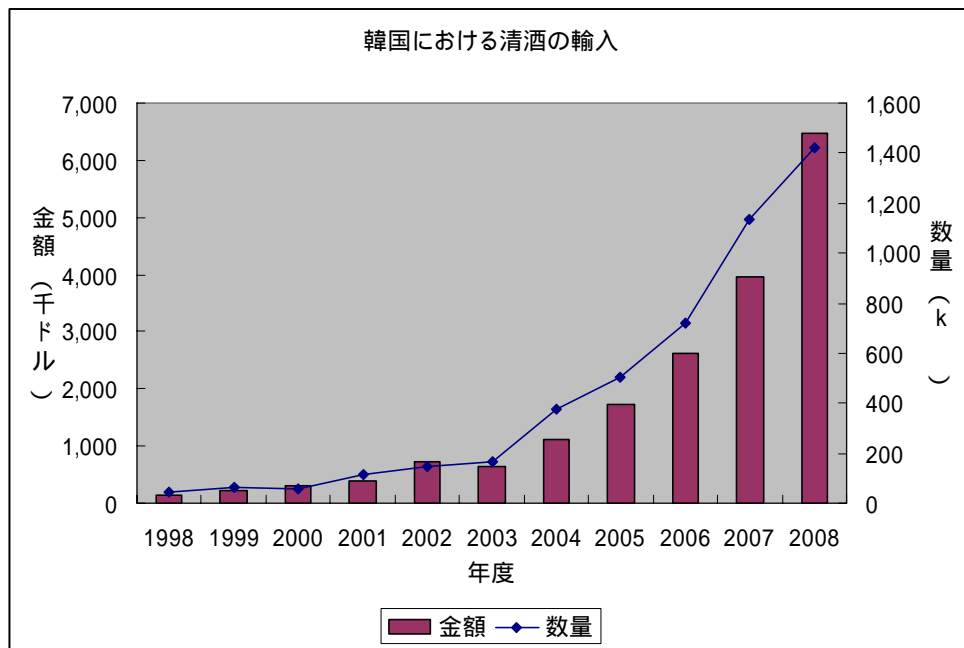
ブランデー	1	1	7	8	18
果実酒	17,978	17,879	15,821	14,097	12,839
リキュール	1,439	1,556	2,955	4,002	6,333
薬酒	10,270	13,364	17,615	22,472	26,288
その他	2,969	3,364	2,913	2,632	2,429

(参照) 大韓酒類工業協会の資料から作成

日本酒の状況について

近年、韓国内でも日本や欧米諸国と同様に健康志向の高まりを受けて日本食の人気が高まってきており、街中でも、「日式」と書いた看板をよく見かけます。もっとも、私本人はまだ一度しか入ったことがありません。

こうした中で、日本食に合うお酒として、韓国における日本酒の人気も高まってきているところです。鹿児島県人としては、芋焼酎や黒糖焼酎ではないのが残念ですが、韓国では、お酒をお湯や水で割って飲むという習慣がないようで、これは致し方ないことのようにです。



(参照) 韓国貿易協会の資料から作成

では、その日本酒の韓国における市場動向はどうかといいますと、若い人の多い居酒屋では廉価なパック酒が、日本食レストランでは地方の地酒が提供されるものの価格はかなり高めの設定となっています。実際、日本でそれらのお酒を楽しむ価格の数倍に設定されていることも珍しくなく、日本の地酒はまだまだ高級品となっているのが現状です。

また、一般向けの小売については、スーパーやデパート、百貨店でも商品が置いてありますが、やはり価格は日本より高めとなっているようです。

日本国内よりも販売価格が高額となるのは、輸入の際に関税、付加価値税、酒税などがかかることにも一因があり、そういった点で韓国内で製造される酒類とはなかなか競争が難しいという面もあります。

【輸入の際の関税】

項目	税率	備考
関税	30%	
酒税	濁酒	5% 発泡酒類
	薬酒及び果実酒	30% "
	日本酒	30% "
	ビール	100% "
	蒸留酒類	72% 焼酎、ウイスキー、ブランデー、一般蒸留酒、リキュール等
付加価値税	10%	

関税 = 関税の課税価格 × 関税率

酒税 = (関税の課税価格 + 関税) × 酒税率

付加価値税 = (関税の課税価格 + 関税 + 酒税) × 付加価値税率

(参照)日本貿易振興機構(JETRO) 「平成 19 年度 食品産業国際化可能性調査 韓国の食品市場について」から引用・作成

上記の関税は基本税率であり、現在は国際関税協約により酒類別に適用される税率がそれぞれ細かく定められています。また、このほかに教育税も課税されます。

関税、酒税、付加価値税等のほかに流通コストなども加わるため、店頭での販売価格が日本よりもかなり割高になってしまうのも納得できないことはありません。

さらに、小売店においては薄利多売を嫌い、少ない販売数で大きな利益を出そうと仕入れ値の倍以上の値段をつけるところもあり、これが販売価格をさらに押し上げる結果となっています。

次に流通についてですが、日本酒を取り扱う大手の輸入業者は 3 社あり、この 3 社でおおよそ 7 ~ 8 割のシェアを占めています。取り扱いとしては、大手酒造メーカーの商品のほか、国内でも名の知れた高級酒や地方の地酒も若干取り扱っているようです。

2 社は輸入後に酒問屋に卸しており、1 社は卸問屋を介さずに自ら営業して小売店に販売しているそうです。また、自ら居酒屋を営んでいる業者も存在します。

こうしたなか、韓国の有名百貨店において、日本酒を専門に取り扱う店舗(コーナー)を開設しようとの動きも出てきている状況です。

クレアソウル事務所主催の日本酒試飲会開催

こうした中、和食や日本酒を韓国においても広報し、販売につなげようとの動きがあり、昨年 10 月には在大韓民国日本国大使館広報文化院の主催による「日本酒・和食促進事業」において日本酒試飲会が開催されました。これには多くの商品が出展され、多数の来場者があったところです。

また、去る 4 月 27 日には当クレアソウル事務所の主催により、日本酒蔵元と韓国の業者とのマッチングを目的として日本酒の試飲会を実施いたしました。

吟醸酒、純米吟醸酒、大吟醸酒、純米大吟醸酒、純米酒、特別純米酒、本醸造酒、特別本醸造酒な

ど、多様な日本酒を 29 の蔵元から 41 銘柄出展し、当日は韓国市場での販売に意欲のある 3 社がわざわざ日本から参加し、積極的に自社の日本酒を PR していただきました。

一方、韓国側の業者にも当事務所から広く声を掛けたところ、輸入・流通関係の業者やデパート・百貨店などの小売業者、ホテルや居酒屋などの飲食業と、様々な業種で日本酒に興味を持っていただいているおよそ 20 社が試飲会場に足を運んでくださいました。業者の皆さんは、出展された日本酒を一種類ずつゆっくりと味を確かめながら見て回り、また、瓶のデザインにも注目していたようです。今回参加してくださった蔵元さんのお酒については、製造者から直接説明を受けることができ、質問を交えながら韓国での取り扱いについて検討していたようです。また、酒類専門の新聞記者も訪れ、試飲会の様子取材していきました。



4 月 27 日 CLAIR SEOUL 主催の日本酒試飲会

試飲会翌日の 4 月 28 日には、遠路はるばる来韓してくださった蔵元さんと、日本酒輸入業者、百貨店との意見交換会の場を設け、色々なお話をうかがうことができました。

参考になる話も多かったので、以下にいくつかご紹介します。

【輸入業者】

- ・韓国での酒の販売には容器のデザインが非常に重要で、瓶は黒色が良い。緑色の瓶は韓国の安い焼酎を連想させるのでなかなか売れない。女性をターゲットにするのなら、白色の瓶にしても受ける可能性がある。
- ・ラベルには日本らしいものを描くと、意外と韓国人に好まれる。歌舞伎の絵などは韓国人にも人気がある。また、韓国人は派手なものを好むので、商品名は金文字で表示すると良い。
- ・売れ筋の商品容量は 4 合（720ml）、一升瓶（1,800ml）では大きすぎるし、5 合（900ml）でも中途半端なので、4 合くらいがちょうど売れる線である。
- ・韓国の小売店からは、ノベルティ（サービス品）を要求されることもある。樽や杓、徳利、猪口、ガラスグラスなどがあると喜ばれるが、ある程度の数が必要になるので、提供する側にとっては負担にもなる。

【百貨店バイヤー】

- ・今年の夏から秋にかけて 2 店舗を改装オープンする予定で、日本酒に特化したコーナーを開設する予定。また、ソウル市内にある 5 店舗とスーパーマーケットにも日本酒を置いていきたい。
- ・新潟の日本酒が有名なので、これを中心として各地の地酒も色々取り揃えたいという意向を持っているが、日本酒についての知識が少ないので、商品を選ぶ際には輸入業者に頼らざるを得ないのが現状である。
- ・ここ 4~5 年、韓国ではワインブームと言っても良い状況だったが、昨年頃からはワインもかなり大衆化してきている。

今後の韓国における日本酒

以上のとおり、韓国において日本酒はまだ高級品との位置づけであり、韓国の食文化を考えると、どこの店でも提供されるような大衆酒になることはないかもしれませんが、今後、更なる人気の高まりが期待される状況ができています。クリアソウルとしても、これから先できるだけのお手伝いをしていく予定です。そして、私個人的には、鹿児島島の芋焼酎、黒糖焼酎が日本酒に続いてくれたら面白いだろうと期待しています。

【(財)自治体国際化協会ソウル事務所のご案内】

住所：CLAIR SEOUL Rm 1608. 16th Floor. Kyobo Bldg. 1. 1-KA, Chongno, Chongno Ku, Seoul, Korea
電話：(82) 2-733-5681 FAX：(82) 2-732-8873

このコーナーでは、鹿児島県の海外駐在員や海外派遣職員の方々のご協力をいただき、毎月海外からのフレッシュなレポートを掲載しています。レポートに関するみなさまからのご意見・ご質問・ご要望等をおまちしております！！

